

### ～公益財団法人認定のお知らせ～

このたび、4月1日に財団法人宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団は、公益法人の認定を受け、「公益財団法人宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団」に名称を変更致しました。宮城県の貴重な自然である伊豆沼・内沼を将来の世代に残すため、引き続き環境保全活動に取り組んで参ります。皆様方のご支援に感謝申し上げます。今後とも、公益財団法人宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団へのご愛顧をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

### 第52回 伊豆沼・内沼クリーンキャンペーン



堤防に落ちているゴミを拾う若柳中学校の生徒さん(左)若柳会場の参加者は562人(21団体)でした(右上)ゴミの量は2トンでした(右下)

### ご協力ありがとうございました！

3月20日(水)に、伊豆沼・内沼周辺で「第52回伊豆沼・内沼クリーンキャンペーン」が開催されました。周辺地域の方々や地元企業をはじめ多くの方々にご協力頂きました。

今回の参加者は1,096人、ゴミの量は2.7トン(3会場合計)を回収しました。

# 伊豆沼・内沼いきもの図鑑

## ギンブナ *Carassius auratus langsdorfii*



### フナの産卵

伊豆沼・内沼で見られる時期：4月中旬～5月上旬の間  
雨が降った次の日や気温が高い日見られます。  
伊豆沼・内沼で見られる場所：浅い岸边(ヨシ原)



伊豆沼・内沼でフナの産卵が多くみられる場所

フナは伊豆沼・内沼に数多く生息している魚です。昔は沼の周辺に住む人たちの貴重な栄養源でした。フナの産卵時期は4月中旬～5月上旬頃です。雨が降った次の日や気温が高い日になると、浅瀬でバシャバシャはねて、ヨシなどの植物に卵を産み付けます。沼の近くで魚のはねる音が聞こえたらフナが産卵しているかもしれません。

フナやコイの産卵の事を、この地域の方言では「ほとけ」とか「ほどき」と言います。卵を産み終わった魚が死んで浮かんでいるのを、仏様になぞらえて「ほとけ」と言うようになったのでしょうか？ご存知の方がいましたら、ご教示下さい。



産卵中のフナ(上)とヨシに付いたフナの卵(下)

## ブラックバスの駆除活動を通して伊豆沼・内沼の自然と触れ合いませんか？

### バス・バスターズとは

ブラックバスの駆除のため、ボランティアを募り結成した団体です。地元をはじめ、県内外からも登録があり、職業も会社員、公務員、農業者、学生などさまざまな方が参加しています。また、駆除作業だけでなく、伊豆沼の自然に直に触れられる活動になっておりますので、ぜひご参加ください♪



## バス・バスターズ参加者随時募集中！

※参加される場合、ウェダー(沼での作業時に着用するもの)をお貸しします。詳細につきましては、下記連絡先にお問合せください。

(公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団

Tel:0228-33-2216 Fax:0228-33-2217

ホームページ：<http://izunuma.org/>

E-mail : [izunuma@circus.ocn.ne.jp](mailto:izunuma@circus.ocn.ne.jp)